歌の構造が記憶検索に及ぼす影響

歌唱再生による検討

小槻智彩

(奈良女子大学大学院人間文化研究科)

キーワード：歌の記憶，再生，歌の構造

The influence of song structure on retrieval of memory for songs

Chisa OZUKU

(Graduate School of Humanities and Sciences, Nara Women's University)

Key Words: memory for songs, recall, song structure

目 的

歌は歌詞とメロディから構成され、それぞれを再生するときには始めから連鎖的に検索される (Rubin, 1977; Chaffin et al., 2011)。一方、演奏家の楽曲再生では、連鎖的な検索に加え、体制化された楽曲の記憶に意図的に記録した箇所を直接検索することも可能であるとされる (Chaffin et al., 2011)。現代日本のポップ・ミュージック (J-POP) では、A メロ・B メロ・サビからなる形式が多い (長野, 2013)。J-POP の再生では、「サビからの再生」などその構造が記憶検索に影響を及ぼすのではないだろうか。本研究では、J-POP のタイトルを手がかりとして歌全体の歌唱再生課題を実施した小槻 (2016) のデータを用いて、歌の誤った箇所を再生したエラーの分析を行い、歌の記憶検索について検討する。

方 法

方法は小槻 (2016) の通りである。

実験参加者 日本語を母語とする女子大学生 28 名 (平均年齢 20.3 歳，年齢 18–23 歳) であった。なお，歌唱を含む実験であることを告知した上で実験参加者を募集した。

刺激 2004～2013 年の音楽教科書掲載曲またはオリコンチャート上位曲から「野に咲く花のように」「千の風になって」「ハナミズキ」「翼をください」「旅立ちの日に」を選定した。

手続き 実験は個別に行い、歌の再生は 1 曲につき 2 回ずつ実施された。1 回目，参加者はタイトルを手がかりとして想起した箇所から歌を再生し，歌詞あるいはメロディのみの再生でもよいことが教示された。その後の 2 分間で声に出しながら再度よく思い出し，2 回目の再生が行われた。練習後に本試行を実施し，参加者に了承を得て録音した。実験時間は約 1 時間半であった。

結 果

小槻 (2016) 同様，5 つのタイトルから再生が得られた 96 ケースを分析対象とした (想起率 68.6%)。これらの 1 回目の再生について，正しい歌詞とメロディの通りに再生が行われたかについて分類を行った。歌詞とメロディのどちらかの要素が無再生であっても，他方の要素通りに再生されていれば「歌の正しい順」とし，歌詞あるいはメロディ，またはその両方が別の箇所のものである場合には「再生順エラー」とした。再生順エラーには，歌の前の箇所に戻る，歌の一部をとばすといったものが含まれる。再生例として，(1) 1 番 A メロの歌詞とメロディの正再生，(2) 1 番 B メロの歌詞無再生・メロディ正再生，(3) 2 番サビの歌詞と 1 番メロディ正再生の順であった場合，(1) (2) を正しい順，(3) をエラーとした。なお，この例では (2) の終わりを「中断位置」，(3) の始まりを「再開位置」と呼ぶ。歌の再生量に関わらず，再生開始から終了まで正しい順だったものは 43 ケース，再生順エラーは 45 ケース，判別不能が 8 ケースであった。同一ケースで再生順エラーが複数回生じていることもあったため，エ

ラーの合計 62 個について整理した (Table 1)。再開時の再生内容を分類すると，(a) メロディは正しいが別の箇所の歌詞再生 (27 個)，(b) 歌詞とメロディのどちらも別の箇所だが (一方の無再生を含む)，再開位置の直前の正しいメロディと，中断位置直前のメロディが同じもの (12 個)，(c) 歌詞，メロディともに別の箇所であり，中断位置とのつながりがないもの (23 個) であった。(a) および (b) は中断位置と開始位置にメロディによるつながりがあったといえる。A メロやサビをそれぞれひとつの区分とすると，つながりのなかった (c) で再生が再開された位置は，区分の始め，区分の途中，さらに課題とは異なる歌に分類された。区分途中からの再開には，区分始めと同じメロディであったものが 3 個あった。

Table 1

再開時の再生内容と再生再開位置による分類

再開時の再生内容	再生再開位置				異歌	計
	区分始め		区分途中			
	歌いだし	歌いだし以外	区分始めと同メロ	区分始めと同メロ以外		
歌詞のみ別の箇所	6	10	9	2	0	27
歌詞・メロ別箇所（中断直前と同じメロの続き）	1	7	0	4	0	12
歌詞・メロ別箇所（つながりなし）	6	8	3	5	1	23
計	13	25	12	11	1	62

注) 「歌い出し以外」= B メロ，サビ，2 番以降の A メロなど。

考 察

J-POP の歌唱再生において，再生中断位置とはつながりのない箇所から再生を再開するエラーでは，区分始めを再開位置とするものが多く，歌の構造に基づいた検索が示唆された。また，半小節単位のエラー内容の分析を行った小槻 (2016) では，歌詞よりもメロディの再生が優位であることが示唆されていた。本分析でも再開位置は中断位置のメロディの続きとなることが多く，これらは歌の再生がメロディをもとに行われるという先行研究の結果と一致する。さらに，中断位置の直前と同じメロディに続く誤った箇所も再生されていた。ひとつの歌の別の箇所に同じメロディがあり，それぞれに異なるメロディが続く場合，その結びつきの強さは均等ではなく，連鎖的な検索のしやすさに影響を及ぼしたと考えられる。

引用文献

- Chaffin, R., Logan, T. R., & Begosh, K. T. (2011). The Oxford Handbook of Music Psychology (pp.352-363).
 長野 俊樹 (2013). 福岡教育大学紀要，第 5 分冊，芸術・保健体育・家政科編 (62), 1-8.
 小槻 智彩 (2016). 関西心理学会第 128 回大会 発表論文集, 89.
 Rubin, D. C. (1977). Journal of Verbal Learning and Verbal Behavior, 16, 611-621.